

英知を力に、前へ



神田・生田で学位記授与

2019年度の専修大館で実施予定だった卒業学位記授与が3月22日、神田・生田両キャンパスで行われた。学部(一部・二部)4235人、大学院(修士・博士)81人、法科大学院14人の計4330人が学窓から飛び立っていった(2面に卒業生へのメッセージと写真特集)。

新型コロナウイルス感染症防止のため、両国技



生田キャンパスでは卒業生が卒業の喜びを分かち合い、仲間との別れを惜しんでいた

日高理事長は「皆さんが、この危機を克服する力となることを期待している」と激励した。

専修大学の真価が決まる。それぞれの道でまいる。それぞれの道でまいる。それぞれの道でまいる。

今年度、総代謝辞に選ばれたのは、河井良太さん(経済)と山下佳織さん(商)。河井さんは「変化する社会で私たちは力強く前に進んでいかなくてはならない。これから先もさまざまな問題に真摯に向き合い、乗り越えていくことで、自分自身を成長させていくと誓った。」

春の日差しに包まれた両キャンパスでは、多くの卒業生が仲間との別れを惜しんだ。西塚悠太さん(商)は「卒業式がなのは残念だけど、最後に思い出が詰まったキャンパスで友だちや先生に会うことができて良かった」と朗らかに語った。

神田10号館 140年記念館完成

専修大学神田キャンパス10号館(140年記念館)＝写真＝が完成した。靖国通りに面する16階建ての高層校舎で、法学部に加え4月に生田キャンパスから移転する商学部と、新設の国際コミュニケーション学部などが利用する。今年創立140周年を迎える本学の新たな学びの拠点となる。(7面に写真特集)



新たな学びの拠点

10号館は2018年2月に着工。鉄骨造り一部鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下1階地上16階建て、延べ床面積1万5782平方メートル。

ゼミ室や講義室などの各種教室のほか、3階には授業や講演会、シンポジウムなど多目的に利用できる「黒門ホール」、最上階の16階はレセプションなどを行う「相馬永胤記念ホール」がある。13・14階には、図書館靖国通り分館が入る。知識を深める基地となるよう Knowledge Base



開放的な空間で学修できる「Knowledge Base」

1階にはカフェを設置した。開放感あふれるガラス張りの外観。外に出られるテラスを各階に配した。高層階からは日本武道館やスカイツリーが見える。

各フロアや階段には憩いや学びの場所として利用できるオープンスペースを多数設け、ホワイトボードも各所に配置。「どこでもアクティブラーニング」を実現する。

3月12日、修祓式が行われた。新型コロナウイルス

三エース専修

専修大学ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/>

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 川島記念賞受賞者(学術賞・体育賞・奨励賞) 人間科学部社会学科 代表3人が卒論を発表
- SIV、コミュニティカフェで地域活性化
- 12教授が教壇に別れ/寮内留学の成果発表会
- 高瀬さん(経営1) 佐賀県駅伝最優秀選手賞
- 石巻専修大学 学位記授与/川島記念賞に9人



2020 GOING GLOBAL

国際コミュニケーション学部

- 日本語学科
- 異文化コミュニケーション学科

2020年4月 スタート